

What is claimed is:

A method of manufacturing a wiring bundle characterized by comprising the steps of:

- feeding out a conducting wire in a wound state, the conducting wire including a conductor and a coating material covering the conductor;
- marking an identification symbol or characters on an outer peripheral surface of the conducting wire while continuously feeding the conducting wire;
- cutting subsequently the conducting wire at a desired length;
- stripping the coating material from opposite ends of the cut conducting wire to obtain a wiring material having stripped wire portions;
- attaching a connecting terminal to each wiring material; and
- bundling the wiring materials by a tying material around intermediate portions of the wiring materials to obtain a wiring bundle.

⑫ 公開特許公報 (A)

昭62-176009

⑬ Int.Cl.⁴

H 01 B 13/00

識別記号

HCD
HCM

府内整理番号

Z-7037-5E
Z-7037-5E

⑭ 公開 昭和62年(1987)8月1日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 配線用束線の製造方法

⑯ 特 願 昭61-14717

⑰ 出 願 昭61(1986)1月28日

⑱ 発明者 藤本 熨 川崎市中原区宮内19番地5 日吉電装株式会社内

⑲ 出願人 日吉電装株式会社 川崎市中原区宮内19番地5

⑳ 代理人 弁理士 竹沢 庄一

明細書

1. 発明の名称

配線用束線の製造方法

2. 特許請求の範囲

導体と、これを被覆する絶縁材とからなる導線を、巻取り状態から巻戻し、連続的に送りながら、その外周面に、識別用符号あるいは文字を印字し、続いて前記導線を所要の長さに切断した後、その両端部の絶縁材を剥いで、裸線部を備える配線素材とし、かつ配線素材のそれぞれに接続端子を取付け、これら複数本の配線素材の中位部を、結束材で束ねて束線とすることを特徴とする配線用束線の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、自動車用ワイヤーハーネス等として使用される配線用束線の製造方法に関する。

(従来の技術)

従来、この種のワイヤーハーネスは、第6図に示すように、両端部に接続端子(a)(a)が取付け

られた長さの異なる導線(b)(b)を束ねた後、絶縁テープ(c)で、これらを一体的に結束して形成されている。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した束線を構成する各導線は、通常、赤、黒、緑、黄、茶その他の線色にそれぞれ色分けされたものを使用し、端子の取付け作業及び配線に誤りを生じないようにしてある。.

そのため、各色毎の導線をそれぞれ用意しなければならず、導線を多い日に在庫する必要があり、また各色それぞれに同じ工程を要し、作業工数が増大するという問題点があった。

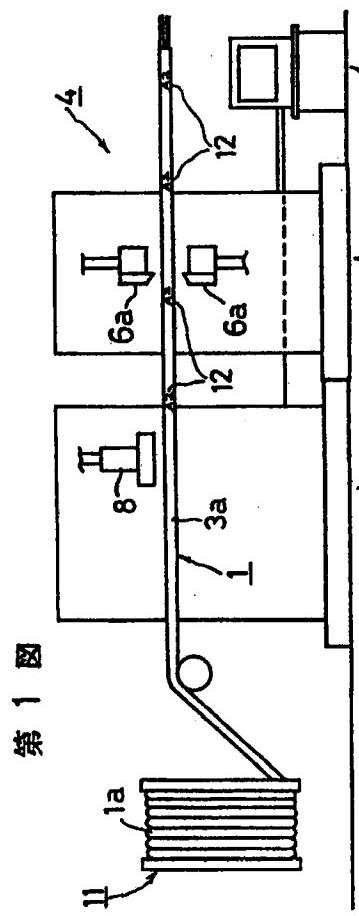
(問題点を解決するための手段)

本発明は、導線に識別符号あるいは文字を印字した後、切断および皮剥ぎを行うことより、色付の電線を使用することなく、束線を容易に製造できるとともに、作業工程が簡素化される配線用束線の製造方法を提供しようとするものである。

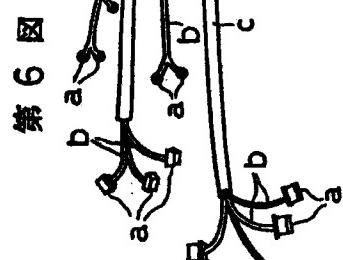
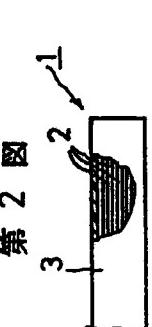
すなわち、本発明による配線用束線の製造方法は、導線と、これを被覆する絶縁材とからなる導

- (10) 裸線部
- (11) リール
- (12) 符号
- (13) 配線素材
- (14) 絶縁テープ
- (15) 束線
- (16)(17) 接続端子
- (18) 配線ユニット

特許出願人 代理人 弁理士 竹沢莊一



第2図



第6図

